

平成16年度 第3回業績評価委員会医学研究評価部会議事要旨

1. 日 時：平成17年2月23日（水） 9：30～17：00

2. 場 所：労働者健康福祉機構本部 18階特別会議室

出席者：櫻井委員長、吉田委員、高田委員、早川委員、阿部委員、
下光専門委員、中村専門委員、松村専門委員、白神専門
委員、根本専門委員、櫻木専門委員、松永専門委員、戸
倉専門委員
関原勤労者医療担当理事、伊津野勤労者医療課長

3. 議事

(1) 開会

委員7名の内4名、各分野の専門委員1名以上の出席があり、
定足数を超えていることから医学研究評価部会が成立しているこ
とを宣言して開会。（高田委員は午後からの参加）

(2) 理事長から櫻井委員長へ諮問

(3) 事前評価について

あらかじめ実施された書面評価（評価項目：研究成果が勤労者
医療において見込まれる貢献度、研究目的の明確さ、研究の独創
性、当該学問分野・関連学問分野への貢献度、従来の研究経過・
研究成果等への評価、研究計画の妥当性、研究遂行の能力）を踏
まえてヒアリングが行われ、その後、各委員、専門委員により討
議が行われた。

「勤労者のメンタルヘルス」分野

出席者委員の一名が、本件研究開発の関係者であったことから、
答申の採決は行わず、後日、当該委員を除く全委員からの採決を書
面で行うこととした。

「騒音、電磁波等による感覚器障害」分野

申請どおり承認されたが、気をつけるべき点として以下のコメン
トがあった。

◆エントリー・クライテリアについて次の事項を明確にすること。

- ・被験者の年齢、性別、職の有無等
- ・目標症例数
- ・対象症例収集開始及び終了時期
- ・研究協力同意撤回者等の離脱者の取り扱い
- ・症例収集終了時期の前に症例数が足りた場合、または、終了時に症例数が足りない場合の取り扱い

◆他の労災病院所属の分担研究者の役割を明確にすること。
この場合、複数の労災病院で同一のデータを収集することを担保する方法を明らかにすること。

「四肢切断、骨折等の職業性外傷」分野

申請どおり承認されたが、気をつけるべき点として以下のコメントがあった。

- ・症例の収集について、できるだけ多く集めるよう最善を計られたい。
- ・職場復帰との関連について、研究の意義付けを明確にされたい。

「働く女性のためのメディカル・ケア」分野

申請どおり承認された。

「高・低温、気圧、放射線等の物理的因子による疾患」分野

申請どおり承認されたが、気をつけるべき点として以下のコメントがあった。

- ・ 研究開発計画の業務量が大きいため、研究遂行体制を見直すこと。